

警 察 署 協 議 会 会 議 録

南警察署協議会

開催年月日時	令和5年9月20日 午後4時00分から 令和5年9月20日 午後5時10分まで	
開催場所	福岡県南警察署 3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下12名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、刑事管理官、交通管理官、地域管理官、総務課長、会計課長、生活安全課長、少年課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、警備課長、地域第一課長、事務局
議 事 概 要		
<p>【開会】</p> <p>【会長挨拶（要旨）】 今回は、県警最重点目標の一つである暴力団の壊滅に関し、暴力団排除教育サポーターによる講話を予定している。 また、協議会の最後には、南警察署の業務に対する質疑応答の時間を設けているので、忌憚のない御意見を賜りたい。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>○ 令和5年上半期の管内犯罪発生状況について 今年3月の着任以来、刑法犯認知件数がやや増加しており、自転車盗が件数の半分を占めている。 また、ニセ電話詐欺の発生が続いており、約6千万円の被害が出ているが、この半年間、殺人等の凶悪犯罪の発生はなく、治安対策は概ね良好に推移している。</p> <p>○ 暴力団排除教育について 平成23年、暴力団排除条例に基づき開始した取組で、中学・高校等で暴力団排除教育サポーターによる講話を行っている。 暴力団排除担当部署でこの施策に携わったが、近年は若年層がほぼ暴力団に加入しなくなるなど、草の根の教育が根付いた成果が出てきている。 福岡は暴力団が根付きやすい土地柄と言われ、各地区に指定暴力</p>		

議 事 概 要

【報告事項】

- 1 総務課長
南警察署治安概況
 - 重点に関する治安概況等
 - その他の治安概況
- 2 生活安全課長
管内における犯罪発生状況
 - 刑法犯認知件数
 - ニセ電話詐欺発生状況
- 3 交通第一課長
 - 管内における交通事故発生状況等
死亡事故の発生状況
 - 秋の交通安全県民運動
- 4 刑事第二課長
 - 暴力団の検挙状況
 - ニセ電話詐欺の検挙状況

【暴力団排除教育模擬講話】

- 1 暴力団排除教育について
平成22年の暴排条例制定に伴い、福岡県全域の中学・高校で講話開始
- 2 暴力団組織について
全国の指定暴力団25団体中、5団体が福岡県に存在
- 3 巻き込まれやすい犯罪
詐欺（闇バイト）、違法薬物の売買等
- 4 巻き込まれないためにできること
ルールを守る、一人で悩まず相談する

【質疑・応答等】

- 1 窓口業務受付時間について
○ 市民生活の所管

議 事 概 要

2 街頭活動、通行方法、ヘルメット着用率について

○ 委員からの質問：

警察官がいないと、時間帯で歩行者専用道路になる場所は違反者が少なくなるようである。

車の通行方法について、右左折の際、ウィンカーを出さない運転者が多い。

自転車について、逆走や無灯火が目立っている。自転車のヘルメット着用率が何パーセントぐらいか知りたい。

○ 交通第一課長回答：

街頭活動については、パトカーのレッド走行、白バイ走行など警察官の姿を見せて抑止に繋げる街頭活動に力を入れている。

通行方法については、今年9月1日から、重点路線における自転車の悪質走行に対し、検挙措置を採る対策を行っている。

自転車のヘルメット着用率について、最新の今年7月末のデータでは、福岡市の自転車ヘルメット着用率は8.8%で、前回調査の2月末から4.4ポイント増加している。

また、昨日、南区内の高校7校をヘルメット着用モデル推進校に指定し、官民一体となって着用率を上げる施策を進めている。

【閉会】